

「人が育ち、共に誇れる学び舎づくり」

～西陵で 学びたい・働きたい・学ばせたい～

帯広市立西陵中学校

校長 春山 俊裕

1. 教育理念

「学校は、人が育つところ」です。西陵中学校を生徒たち一人一人が昨日より今日、今日より明日とよりよく成長を遂げる場にしていきたいと考えます。

また、学校は、生徒たちにとって「今日は楽しかった。明日も頑張ろう！」と毎日思える、楽しく安全な場所ではなくはなりません。その「楽しさ」は単に「おもしろい、楽（らく）」な「楽しさ」ではなく、「学び、理解し、できるようになる楽しさ」「難しいことに挑戦してやり遂げる楽しさ」「仲間と力を合わせ、心がつながる楽しさ」など、生きる力につながる楽しさでなくてはなりません。

西陵中学校に学ぶ生徒たちが皆、**学ぶこと、創造すること、運動することが好きで、自分と仲間を大切に思い、何事も最後までやり抜ける人**として育っていくことを願います。

そのために、「教育は未来を創る営みである」ことを深く自覚し、一人一人を大切にした指導を組織一丸となって進め、「生徒にとって学びたい学校」、「教職員にとって働きたい学校」、「保護者・地域にとって学ばせたい学校」づくりを進めていきます。

2. 学校教育目標

1.	強い心でたくましく生きる ＜最後までやり抜く生徒＞	鍛錬する
2.	<u>豊かな心でふれあいを大切にする</u> （年度の重点） ＜思いやりあふれる生徒＞	想像する
3.	広い心で真理を探究する ＜志高き生徒＞	継続する

3. めざす学校像

◆一人一人が安心して学ぶことができ、仲間とかかわり合う喜びを味わえる学校
＜生徒の夢が育つ学校＞

学びたい

◆教職員が「チーム西陵」として子どもの育ちを支え、その成果を共に喜び合える学校
＜教師の夢が生きる学校＞

働きたい

◆保護者が我が子を通わせる喜びが実感でき、地域から信頼され、敬意をもたれる学校
＜保護者・地域の夢が叶う学校＞

学ばせたい

4. めざす生徒像

(イメージする具体的な姿)

- <学目1> 進んで体を動かし、心身共に健康で自分のめあての実現に根気強く努力できる生徒
- <学目2> 言葉を大切に使い、互いの違いと良さを認めながら、協力し合って活動できる生徒
- <学目2> 他者や社会などのために、すすんで貢献できる生徒
- <学目3> 自調自考の習慣を身に付け、学ぶことが好きで、学び続けようとする生徒

5. めざす教師像 (使命感に燃える教師)

- ◆生徒理解に努め、一人一人を大切にする教師
- ◆研修に励み、わかる授業の創造に努める教師
- ◆豊かな発想で、新たな創造に喜びをもつ教師
- ◆仕事に責任をもち、協力し合う教師

<教師と生徒の共通行動指標>

- ◆ 5分前準備完了
- ◆ 一日一尽
- ◆ 先手挨拶

6. 学校経営の基本方針

(1) 個を活かし、組織として機能する潤いと秩序ある学校経営に努めます。

- ① 報告・連絡・相談・確認の徹底
- ② 協力・協働・信頼関係に基づくチームワーク

(2) 小事を大事にする学校経営に努めます。

- ① 日々の授業、一時間一時間を大事にする
- ② 日々の小事を見逃さず、一人一人を大事にする生徒指導の充実

(3) 誠意をもった姿勢を貫く学校経営に努めます。

- ① 公教育を担う意識・責任を自覚した教育活動の展開
- ② 保護者・地域との連携を深め、願い・期待に応える教育活動の展開

7. 今年度の重点目標

Let's think! しんか!しんか!!しんか!!!
~向上し続ける自分になる~

- (1) 「チーム西陵」として、学力向上を軸に学校改善を推進し、学校力の向上を目指す。
- (2) 組織マネジメント等を機能させ、働き方改革を通して指導効率を高める。
- (3) 保護者や地域、関係機関との連携・協働により、教育環境整備を推進する。



<生徒のクオリティー向上をめざした 知・徳・体のレベルアップ>

「知」: 主体的・対話的で深い学びの観点に立った授業構築や指導計画の作成

「徳」: いじめゼロ・不登校ゼロに向けた組織的対応力の強化

「体」: 家庭や地域と連動した日常体育の推進 (部活動休養日との関係含)

8. 今年度の具体的な推進計画

<教育経営>

一方針一

- 新学習指導要領に向けた教育課程の展開，学習過程を重視した指導と評価の一体化に努め，知識・技能，思考力・判断力・表現力，学びに向かう力・人間性という資質・能力を確実に身に付けさせる。
- 学年ごとの到達目標の設定，個に応じたきめ細かな指導，エリア・ファミリーで展開する学習環境の適切な整備により，確実に学力を向上させる。
- 生徒指導における教育相談の機能を生かして生徒理解を深めるとともに，各分野，教育課程外教育活動における指導の質を高める。
- 「全校安全集会」等を活用し，命や思いやりの心の大切さ等，あらゆる機会を生かして指導する。
- 横断的な教育課程を重視し，健康・安全教育の充実と体力の向上をキャリア教育に位置付け取り組む。

一具体策一

◇確かな教育課程，学力向上◇

- 各教科における到達目標の設定と，ねらいを踏まえた指導の徹底
- 特別支援学級における個に応じた教育課程の展開と指導の充実
- エリア・ファミリーと連携した学習規律・生活規律の整理・統一
- 全教職員による学校改善プランの検証，学力調査分析等によるスピード感のある改善
- 指導方法工夫改善加配，特別支援補助員の活用による個に応じた指導の充実
- 各家庭の役割を明らかにした連携と学習習慣の定着（学習時間の確保），生活習慣の改善

◇命や心を大切にす教育と生徒理解の強化による生徒指導の充実◇

- 危機をチャンスと捉え，あらゆる場面でスピード感をもって組織的に対応できる体制の確立
- 全教職員によるいじめ防止基本方針の検証・改善と，不登校への組織的な対応の充実
- 教科として新たにスタートを切る道徳科の適切な実施
- 問題点を先取りした「情報モラル教育」「人権教育」「奉仕活動」の充実

◇健康・安全教育と体力の向上◇

- 地域と連携した交通安全教室，防犯教室，薬物乱用防止教室，防災訓練等の充実
- 各種調査，部活動の実態を踏まえた体力向上，食育専門員と連携した食に関する指導等，様々な取り組みを横断的に展開するキャリア教育の充実

<教育システム>

一方針一

- 学校全体で，誠意とスピード感（初期対応）のある危機管理に努める。
- 教職員一人一人の結びつきを強化して同僚性高め，内外に開かれた強い学校を目指す。
- 今後必要な指導スキルを明らかにするとともに働き方改革を推進し，業務を整理して機動性を高める。
- 学校力向上にかかわる計画的で見とおしをもった校内研修の推進，実践的な演習等の実施により確実に指導力・対応力の向上を図る。
- 公教育に携わる組織体・公務員として法令遵守の徹底に努め，不祥事を根絶する。
- 将来のCSや小中一貫教育を視野に入れて，充実した学習環境の整備，地域・関係機関との連携に努める。

一 具体策 一

◇適切な危機管理◇

- マイナス情報の素早い報告と全職員による情報共有やシミュレーションによる危機意識の醸成
- 学校全体による組織的な初期対応の展開（管理職やスクールリーダーのリーダーシップの発揮）
- いじめや不登校，問題行動などの未然防止や「いつでも対応できる」体制整備
- 日常的な演習の蓄積による適切な初期対応能力の向上
- 学校力向上実践事業の活用による，課題解決力の向上
- 教育課程の管理，適正な学校経営，学校情報の管理，服務規律等の徹底

◇働き方改革を踏まえた実践的な指導力の向上◇

- これまでの伝統にとらわれないカリキュラムマネジメント，指導体制の整理，指導方法等の改善
- 様々な評価情報の活用による自己の指導を振り返る機会の拡充と業務の効率化
- 保護者への適切な教育情報の発信と説明，還元情報の活用

◇エリア内連携と学校運営の情報提供義務，法令遵守の徹底◇

- エリア内連携による「学び直し」時間の削減と個に応じた指導の時間確保
- 経営方針，学校運営の検証・改善結果，学校評価や教育課程の状況等の公表と情報共有